

## 平成29年度厨房設備士試験実技試験結果 講評

### 2級

- (1) 厨房機器配置図の不適切箇所を指摘し、その理由、改善策を答える問題

厨房設計者、機器設置施工者が知っておくべき知識、法的な禁止事項、設置時のルールを習得するために、配置図の不適切な6箇所を指摘し、その理由・改善策を答える問題で、5箇所については高い正解率でしたが、床フローリング（可燃物）を指摘した受験者は少数でした。

- (2) 厨房平面図の機器の穴埋め、シンボル記入、機器リスト空欄埋め問題

#### ① 機器の穴埋め

機器の選択は、ほとんどの受験者が作業のコーナーを理解しており、良くできていました。但し、図の描き方が不適切なものが相当数ありました。

(不適切例)

- ・冷凍庫 扉の軌跡の描き方。高さのある機器を表す一点鎖線。
- ・ガス二槽フライヤ 二槽の描き方。
- ・ガス蒸し器（キャビネットタイプ） 扉の軌跡の描き方。
- ・パススルー冷蔵コールドテーブル  
扉の軌跡の描き方。機械室の表記が無い。
- ・二槽水切付シンク 水切り部の表記の無いもの。水切りの描き方。

#### ② シンボル・フード記入

全体的に、よくできていました。

(間違いの多かった箇所)

- ・炊飯器2台に対してシンボルが1つしか無い。
- ・スチコン用のフードを炊飯器の上まで伸ばしている。  
(炊飯器の上にはフードの表記がある)
- ・フードの描き方。

#### ③ 機器リスト空欄埋め

機器の穴埋めができていたため、機器リスト空欄埋めも高い正解率でした。

例年と同じ傾向の出題方法で過去問題がホームページに掲載されていることもあり、正解率は昨年より上昇しました。